



かぜっこだより



令和4年 5月20日 第5号

文責：納所小学校長 益田 宏

運動会の練習に熱が入ってきました!!



開閉会式などの全体練習は、少ない回数でポイントをおさえ効果的に行っています。



赤組・白組どちらの応援も元気な声、きびきびした動きになってきました。

初夏の爽やかな陽気の中、5月22日（日）の本番に向け、熱の入った練習を行っています。子供達は、児童会目標の『仲良く 協力し 笑顔あふれる 納所っ子』を合言葉に一生懸命に頑張っていて、地域・保護者の皆様にこれまで練習で積み重ねてきた成果を見ていただくことを楽しみにしています。天気予報でも雨の心配はないようですので、運動会当日の子供達の演技や競技に向かう姿にご期待ください。



4～6年生『よさこいソーラン』。威勢のいい掛け声とキレのある動きが見どころです。5・6年生が4年生に踊りを教えていました。いろいろな場面で伝統が引き継がれています。



1～3年生『ダンシングヒーロー2022』。伝統種目の玉入れと、ダンスをミックスした種目です。練習もノリノリで楽しそうです。

裏面あり

除草作業ありがとうございました



運動場にたくさん生えていた雑草を丁寧にとっていただきました。



経年劣化が進んで使用禁止にしていた遊具を撤去していただきました。

5月15日（日）の除草作業では、休日にも関わらずたくさんの保護者の皆様にご参加いただきました。校舎周辺、学級園、運動場など至る所を除草・整備していただきました。また、経年劣化が進み使用禁止にしていた遊具が運動場にいくつかありましたが、中山副会長・環境厚生部の皆様を中心に当日の午前中から撤去作業をしていただきました。子供達が遊んでけがをしないようにと、撤去した後のメンテナンスまで丁寧にしていただきました。保護者の皆様ありがとうございました。

どうして勉強するの？

『どうして勉強しなければいけないの？』とお子様から尋ねられた経験がある保護者様もいらっしゃるのではないのでしょうか。5月の全校朝会では、このことについて話をしました。6年生への事前のアンケート結果（しっかりとした意見でした。さすがです!!）を紹介した後、“建築の素人が家を建てることができるか”というテレビ番組の企画を観た話をしました。番組のスタッフが必要書類の作成から設計・建築を独学で進め、試行錯誤を重ねながら、遂には家を完成させるという番組を観たときに“勉強したことがしっかりと身に付いているとそれを使っていろいろなことに力が発揮できる。勉強って役に立つ!!”と感じたことを伝えました。5月18日付佐賀新聞に掲載されていた『唐津市学力向上研究会』の記事には、講師が「学習の全体像を見据えて目標やゴールを子供達に示すことが大切」「知識前提で上手に教える時代ではなく、子供達自身が学びをつくるのが大事になる」と話をされていました。学校でも算数科の“縮図”を学習した後に“木の高さ”を測定するなど、子供達に「なんのために今この学習をしているのか」を示したり、「実際に学習したことを活用」させたりすることで、子供達が「めあて」をもち課題解決に主体的に取り組めるようになることを目指しています。

【事前に6年生にアンケートをした勉強する理由】

【算数科で学習したことを使って測定できます】

じぶん	じょうず		
自分のため	コミュニケーションが上手になる		
とも	かんが	し	
友だちの考えを知ることができる			
じしん	ひとまえ	はっぴょう	
自信がもてるように人前でもどうと発表ができるように			
しつもん	こた		
質問されたときに答えることができるようになるため			
どうとく	はんかつどう	ひと	かかわ
道徳や班活動などで人との関りがわかる			

たか き たか
高い木の長さ